

環境・安全運行支援特集

2016/11/21
物流ウィークリー

環境保全に考慮したグリーンプロジエクトを行い、積極的に環境対策に取り組んでいる越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)。

同社は、荷主と調達先メーカーの協力のもとミル克蘭方式を採用し、集荷、納品の集約を実現。幹線輸送などは、鉄道コンテナ輸送を利用したモーダルシフトを行うだけでなく、集荷、納品に使用する車両はすべて天然ガス車を導入し、共同配送部分でのCO2の削減につなげている。荷主の環境対策の取り組みに貢献しながら、自社でもISO14001を取得するなど、徹底した取り組みを行っている。

また、自社の仕事内容に天然ガ

天然ガス車を積極的に導入 全社一丸で環境対策

越野運送



越野社長

ス車がマッチしていることもあり、積極的に同車両を導入している。「天然ガス車を導入することで、顧客にも環境対策に注力している企業と認識してもらえらる。ま

た、環境の改善に取り組むような仕事の依頼がもらえることもあり、営業の武器にもなる」と話す。

同社は、今後も環境対策に取り組む、顧客との信頼を得られるように現状の配送を

継続し、全社一丸となって環境に対して取り組みを行っていく。越野社長は「環境対策は小さなことの積み重ね。天然ガス車も常に台数を保有し、今後様々な展開ができるようにしていく」と話す。(中村優希)